

東部購買店便い1冊

ＪＡ静岡市あさはた支店 東部購買 TEL：245-7527 購買：245-7555

茶	苺・水稻・蔬菜	柑橘・果樹	女性部（しづはた兼任）	購買
松尾	松尾・小柳・奥田	大塚	大越	橋本・萩原・中村（早）・松下・鈴木 中村（則）・田山

～「農業用廃プラスチック回収」のお知らせ～

- ★ 詳しい内容については、部農会回覧をご確認ください。（7月回覧）
- ★ ご希望の方は、委任状（申込書）を最寄りのＪＡ支店又は、東部購買店へご提出ください。
- ★ 注意：プラスチック、ポリとビニールの申請違いが無いよう、種類の確認をお願いします。
- ★ 委任状、申込締切 … 廃プラスチック回収：8月14日（金）

重要！

茶【病虫害防除】

◆7月下旬～（防除適期は圃場環境によって異なります。）

クワシロカイガラムシ 2回目発生	アブロードエースフロアブル コルト顆粒水和剤	1,000倍 2,000倍	単用（14日） 単用（7日）
---------------------	---------------------------	------------------	-------------------

◆3番茶萌芽期～1葉開葉期

炭疽病・もち病・新梢枯死症 ウンカ・スリップス	フロンサイドSC コルト顆粒水和剤	2,000倍 2,000倍	混用（14日）
----------------------------	----------------------	------------------	---------

◆3茶生育期

炭疽病・もち病・褐色円星病 スリップス・ハマキムシ類	インダーフロアブル エクシレルSE	5,000倍 2,000倍	混用（7日）
-------------------------------	----------------------	------------------	--------

※エクシレルSEはマダラカサハラハムシに効果あり

◆8月上旬

ハマキ虫類（ヨモギエダシャク）	ファルコンフロアブル	4,000倍	単用（7日）
-----------------	------------	--------	--------

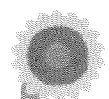
※ファルコンは若令幼虫期に使用する。時期を逸した場合は、アフーム乳剤 2,000倍（7日）に代える。

土壌診断（茶）の申込受付について

○提出期日 令和8年8月21日（金） 東部購買店まで TEL：245-7527

○料金について 1検体・1,330円（税込み） ※購買代金引落とし口座より翌月引き落としになります。

- ① 風乾した土を300g程度。土は必ず乾燥し、1mmのフルイにかけて下さい。
- ② 土を入れた袋には、「氏名」「電話番号」「作物名」「ハウス・露地」などを明記して下さい。



今がお得！！除草剤キャンペーン

8月末日まで！！

1本あたり
104.1円！

ザクサ液剤
5ℓ ￥19,877⇒￥18,500
専用ノズル1個 プレゼント！



**ラウンドアップ
マックスロード**
葉から入って、根まで枯らす
5.5ℓ ￥15,246⇒￥13,800
計量カップ1個 プレゼント！



畑のおともに

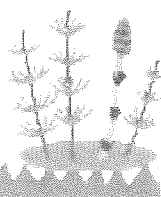
JAのドリンク♪

ポストニックウォーター
￥2,500（税込）
1ケース24本
素早い水分補給が可能な
スポーツドリンクです。



タッチダウンIQ
6ℓ ￥13,893
⇒￥12,800
500ml 1本 プレゼント！

ブリグロックスL
5ℓ ￥9,482
⇒￥8,700
工具入れ プレゼント！



東部購買店だより 令和8年7月17日発行

柑 橘

8月を迎え摘果作業を行っている事と思われます。下記に記載した品種別葉果比表を基準に仕上げ摘果を行ってください。中晩柑類は、大玉生産にするため内裾なり果・小玉果・傷果・奇形果を重点的に摘果しましょう。連日異常な高温が続いております。体調に気をつけて作業に当たってください。

品種	摘果時期	葉果比（葉の枚数に対する果数）	内裾なり果・小玉果・傷果・奇形果を中心に摘果を行ってください。特に中晩柑類は、直花果の肥大が鈍いので、摘果してください。
極早生	8月中旬	25枚に1果	
早生	8月下旬	25枚に1果	
青島	9月上旬	20枚に1果	
ポンカン	9月上旬	100～120枚に1果	
不知火・はるみ	8月下旬	100～120枚に1果	
スルガエレガント	8月下旬	90～120枚に1果	

◎防除管理

【温州みかん】

散布時期	対象病虫害	使用農薬名	希釈倍数	使用基準
8月上中旬	黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回
	チャノキイロアザミウマ	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	14日-3回

※収穫の早い極早生の黒点病防除は、8月中旬までに必ず散布してください。

【中晩柑】

散布時期	対象病虫害	使用農薬名	希釈倍数	使用基準
8月上中旬	黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	90日-4回
	チャノキイロアザミウマ	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	14日-3回

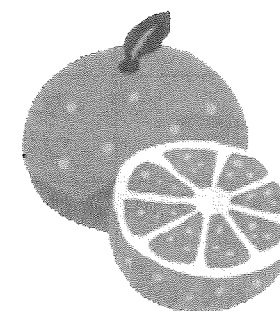
※中晩柑の黒点病防除剤（ペンコゼブ、ジマダ他）、IMダィア水和剤）は収穫前の基準日数は、90日になりますので散布日に注意して下さい。

◎施肥管理

スルガエレガント…スルガペレット 3袋/10a

不知火・はるみ…新FTE S604 2袋/10a

⇒ ※「はるみ」のべたなりで葉が黄色くなっている樹は早急な摘果と
ダブルクイックS550の施用をおすすめします。



◎品質向上対策【マルチの被覆】

糖度上昇や着色促進、浮皮軽減効果が期待できます。是非取り組んでください。

被覆方法	被覆時期		被覆目的
全面マルチ	青 島	8月上旬～8月中旬	着色促進、糖度向上
部分マルチ	早 生	8月上旬	着色促進 収穫早期化
	青 島	8月中下旬	

落葉果樹

作物名	散布時期	対象病虫害	使用農薬名	希釈倍数	使用基準
キウイ	8月上旬	果実軟腐病	ベルコート水和剤	1,000倍	前日-5回
柿	8月上旬	フジコナカイガラムシ カキヘタムシガ	モスピラン顆粒水溶剤㊟	2,000倍	前日-3回
梨	8月上旬	ハマキムシ・シンクイムシ カメムシ	アグロスリン水和剤㊟	1,000倍	前日-3回

㊟の表示のついた農薬は購入時に印鑑が必要になります。

水稲
 今年、トビイロウンカ注意情報はまだありませんが、通常防除を適期に行ってください。

- 1) 穂肥の施用
 ① 中干し後、穂肥を施用し3～5日間湛水する
 ② 穂肥施用時期になっても葉色がさめない場合は減肥する
 ③ 一発肥の場合、穂肥時期の3日前に入水して肥料を効かせる
- 2) 水管理
 ① 出穂25日～10日前は3日おきに湛水と落水を繰り返す(間断かん水)
 ② 穂ばらみ～出穂期は最も水を必要とするので3～4cmの深水にする
- 3) 病害虫防除
 水田への薬剤散布後7日間は落水、かけ流しをしないようにしましょう！

品種	穂肥時期	出穂期
ひとめぼれ	7/18	8/6
コシヒカリ	7/22	8/8
あいちのかおりSBL	7/31	8/24
きぬむすめ	7/25	8/18
葵美人	7/30	8/23

	防除時期	対象病害虫	薬剤名	倍率	収穫前日数-回数
液剤体系	7月下旬～8月上旬	ウンカ・カメムシ	トレボン乳剤	1,000倍	14日-3回
		紋枯病	モンカットフロアブル	1,000倍	14日-3回
		いもち	ダブルカットフロアブル	1,000倍	穂揃期-2回 穂が8割出たころ
	出穂直後(8月中旬)	ウンカ・カメムシ ツマグロヨコバイ	エクシードフロアブル	2,000倍	7日-3回
		いもち・穂枯れ	ブラシンフロアブル	1,000倍	7日-2回
	乳熟期	カメムシ 発生多い場合	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	7日-3回

※ コブノメイガが多い場合はロムダンゾル 1,000倍-21日前-2回以内

省力体系	出穂前	いもち病・紋枯病 ウンカ・カメムシ	ワイドパンチ豆つぶ	250g/10a	35日前-1回
	出穂後	カメムシ・ウンカ ツマグロヨコバイ	スタークル豆つぶ	250g/10a	7日前-3回

※粒剤・豆つぶ剤は3～5cmの水位で散布し、湛水状態を5日間保つこと

【カメムシ対策】

昨年は中・晩生品種でカメムシ発生により斑点米や不稔米など被害がありました。
 今年も全国各地で多発生が予想されますので、防除の徹底をお願いします。

対策① 除草を行う

出穂する10日前までに畦畔等の周辺雑草を除草し、水田への侵入を防ぎましょう。
 出穂直前の除草では逆にカメムシを水田に追い込み、穂への加害が増えてしまう可能性があります。

対策② 適期に防除を行う

出穂7～10日後(出穂：穂が5割程度出たころ)と乳熟期の2回防除がより効果的です。
 下記薬剤を適期に散布しましょう。

カメムシ類	スタークル顆粒水和剤	2,000倍	7日前-3回
	エクシードフロアブル	2,000倍	7日前-3回

いちご

≪育苗≫ 採苗状況はいかがですか？ 炭疽病防除を宜しくお願いします。

1、育苗管理「作業開始前に炭疽病の恐れがある株は除去することを徹底しましょう。」

- 最終ポット受けから20日以上経過してから切離しを行いましょう。
 - 温暖化の影響で、平地育苗では10月に入ってから定植となる方が増えています。育苗日数の長期化により根詰まり等(特に小型ポット)が懸念されますので、切離し時期は適宜調整して下さい。
- 例：10月1日定植の場合→切離し8/15～20頃
- 1B化成にて管理する場合：切り離し時に1粒/株を施用する。
 - 切り離し後に摘葉を行う。常時展開葉2～3枚を目安とする(定植時は4～5枚)。
 - 苗の間隔(15～20cm)をとり、風通しを良くして軟弱徒長を防ぐ。
 - 遮光、遮熱資材を使用して高温対策及び高日射による苗の痛みを防ぐ。

2、8月の育苗圃防除ローテーション(先月号の続き)

時期	薬剤	RAC	倍率	主な対象病害虫
第1週 (26日～1日)	コサイド3000	M1	1,000倍	炭疽病
	エコピタ(液)	—	100倍	うどんこ病、ハダニ、アブラムシ
第2週 (2日～8日)	アントラコール(顆水)	M3	500倍	炭疽病
	モベント(フ)※散布	23	2,000倍	ハダニ、アブラムシ、アザミウマ
第3週 (9日～15日)	オーソサイド(水)	M4	800倍	炭疽病
	エコピタ(液)	—	100倍	うどんこ病、ハダニ、アブラムシ
第4週 (16日～22日)	セイビアー(フ)	12	1,000～1,500倍	炭疽病
	カスケード(乳)	15	4,000倍	ヨトウ、アザミウマ
第5週 (23日～29日)	アントラコール(顆水)	M3	500倍	炭疽病
	ニッソラン(水)	10A	2,000～3,000倍	ハダニ

3、コガネムシの防除

本圃定植前にコガネムシの防除をしましょう。

お勧め薬剤	使用時期	使用方法	倍率	回数	成分総使用回数
ダイアジノンSLゾル	ポット育苗時	育苗ポット灌注	500倍 (1,000ml/m ²)	1回	2回
	定植前(本圃)	全面土壌混和	25倍 (100ℓ/10a)	1回	
ベリマークSC	育苗期後半～定植当日	灌注	1,000倍 (50ml/株)	1回	4回 (灌注は1回、散布3回以内)

※「ダイアジノン」については成分総使用回数が2回までとなっています。

4、子株の肥培管理「肥料は測って管理しましょう。」

置き肥の場合、9月上旬に肥効が切れる様に管理して、その後は液肥にて管理するのが望ましいです。
 葉面散布の場合は3日間隔程度で施用しましょう。

※9月上旬からは硝酸イオン濃度50～100ppm程度になるように管理しましょう。

お勧め資材
 メルコクアント試験紙
 ￥6,072(税込み)
 ※令和8年6月時点

・展開第3葉の葉柄を折り、ペンチで潰して生体液を測定部につけることで、簡易的に植物体内の硝酸態窒素濃度(NO₃⁻)を測定することが可能です。
 ※冷蔵庫にて保管し、持ち運ぶ際は保冷剤を入れた保冷バックに入れて下さい。

